

# オクターブガールズ ~チップチューン...

八千代

「うんだけど……」「…………」  
「…………、かな。いると  
したら、音ゲーんとこだと強

ISE

環境音 ゲームセンター

:14/後左遠→:6/後左→:5/後

『十一姫の少女～ナシナナヒナ～』・箱根八千代 „ 8bit of love ”』 v100\_190831\_v110\_190920

進行豹

五百一十九

以下、ボイス全て八千代

平政事  
卷之二

（呟き声）に呟き声 听いての思ひ假想が絶え離して  
ください。繰り返す長さは、演者さんにとつていいよいタイミング・間にでこ決定いただけましたら幸いです。

十二、内々の問題

(接近ささやき)は、密着距離までマイクに接近しながらor接近

（吹きかけ）は、密着距離でマイクに息を吹きかけるのでお願ひ

します。距離が近いほど低音が入つてぞくぞく感があがるらしいので、なるたけ密着でお願いします。

前回のよみが指定の場合には、種類しながらお演しく力

「その他、不明点がございましたら」確認お問い合わせ下さい

卷之三

/ / / / / :

「」の台語だけモノローグ扱い

- 1 -

## 【八千代】

「ん……。あ、いた。ふう、  
やつせり！ カホンの達人  
”——つて！ あつ！ ？」

1/前 (1)(2) 1役でお願いします。ゲームボイス(いせく)

【筐体】 「ダーマホーバードカホン…」

;5/後→;6/後左

【八千代】  
yachi\_2 「……残念。惜しかったね。つ  
ていうか、もしかして気、ち  
らしちゃつた？ わたし」

【八千代】  
yachi\_3 「あ！？ 気づいてなかつた？  
嗯！」 むん、声かけて。え

と——わたしの「」わかる…  
…よね？」

## 【八千代】

「対戦ともどもお向かいして  
し、大会でもあたつたことあ  
るし、反省会とかでもちょい  
ちょい顔はあわせて——」

## 【八千代】

yachi\_4 「（呼吸音）——あ、よかつ  
た！ けど、そか。ちゃんと自  
己紹介した」となかつたね」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_6</sup>じゃ、あらためて。わたしは  
八千代（やちよ）。箱守（は  
」もつ）八千代。高校1年。  
キミより、多分……年下な感  
じ？　だよね？？」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_7</sup>あ……（呼吸音）そーなん  
だ。ふーん。いわれればその  
くらいの年に見えるかなー。  
わかんないけど。って、年の  
こととかはいまはよくな  
ええと、その——」

;7/左 耳打ち

## 【八千代】

「<sup>yachi\_8</sup>あの、ね？ 少しだけ、話と  
かいい？」

;1/前

「<sup>yachi\_9</sup>あー、つと、大したことじや  
ないんだけど。あ、いや、違  
う？ 多分……結構大したこ  
と？ その判断も、自分じやい  
まいちわからなくて」

## 【八千代】

yachi\_10 「まあ、うん。相談『J』と。相談  
『J』とのことか……もしもお  
願いでもあるなら、頼み事し  
たい感じのところか」

## 【八千代】

yachi\_11 「あ！ つてか、『J』だと邪魔  
になるし、ドリンクコーナー  
行こ？ 今用ね『J』つかいまだ余  
裕あるし——好きなの一一杯、  
お『J』るから」

;SE 一人足音

;SE ベンダー500円投投入

;6/左前 (マイク) 背中回転

## 【八千代】

yachi\_12 「何がじい？ なんでもいい  
よ。好きなの頼んで——あ  
はつ、うん」

;SE ボタン押下 右手

yachi\_13

「わたしは——ジユース。100%  
のオレンジ、つぶ」

;SE ボタン押下 右手

;SE 返却レバ→ねじ下 250円 (硬貨3枚) →回収

;1/福

## 【八千代】

yachi\_14 「せつ、みわく」

;SE パルタフ開け

## 【八千代】

yachi\_15 「ん……（「Jへり、「Jへり、「J  
くつ）」

## 【八千代】

yachi\_16 「ふう……つて、落ち着いてる  
場合じゃないか。えとね?  
さつきの、その――相談ご  
とつていうか、頼み事つてい  
うかなんだけど――」

;SE 縦ペラ

## 【八千代】

yachi\_17 「――れ。」のビラ置いてあつた  
の。CD屋さん。なんかね?  
音楽のオーディションの。  
見て?」

## 【八千代】

yachi\_18 「（唇吸音）……………そんな  
有名な人なの。AK——Arai Ke  
iji——ついに——作曲家——ふ  
んふん、ふーん……わつか、  
音楽の世界では有名なん  
だー」

---

## 【八千代】

yachi\_19  
「うん。わたしは知らなかつた。別に音楽の世界の人じやないし。CD壁さんも、カマラブのドラマCD聞くじにいつただけだし」

## 【八千代】

yachi\_20  
「ただ……ね？」のチラシ、偶然見つけて……見つけちやつて、それで——その、はずかしいから、もつかいだけ、ちょっと耳貸してくれる？」

;3/右 ひやひや語

---

## 【八千代】

yachi\_21  
「スペゼロの大公の——！」で前あつたやつ。地区予選。あと、常連勢で反省会したじゃない」

## 【ハチヤ】

「カワホケ、ねたしもマイクも  
たれれて……セシタムサリ、  
ほめてくれたじゃよ。歌い  
終わつた、わざわざ来て、隣  
ねつ」 んでれ。『ア』「こ  
な。こ、歌姫じわよの♪わ  
くニッタ』 う。

1/編

## 【ハチヤ】

yachi<sup>-23</sup> 「『ト、ハペ、レ…。』 う、思つた  
セビ、サリ、あぐまたの席  
眼のト——だからねたし、お  
母様がもだげど、本懶で寝ぬ  
してくれたのかなあつ——あ  
……（唇吸音）——わあ—。」

## 【ハチヤ】

yachi<sup>-24</sup> 「えくくーー、覚えてくれた  
んだ。しかも『お母様じやな  
い』のト——「れしゃー、よ  
かつたあ、」れで相談、ぐつ  
としあずくなつねやつた」

## 【ハチヤ】

yachi\_25  
「——。あなたΘ。 IJΘ  
ホーツヤハミハ、AKホーツイ  
シミハシルが、相談IJヒタ  
シ」

;SE 総音

## 【ハチヤ】

yachi\_26  
「エリ、リリ眠れ。 番じてあ  
るドン。『ホーカリスト大  
募集。年齢性別国籍絶縁一切  
不問。ホーツヤハミハ伍格者  
ヒセAK♪ロトベースドの、歌  
手としてCDトドクターを確  
定』の」

## 【ハチヤ】

yachi\_27  
「歌かぬだなんじ思ひなじけ  
る——でも、ワンチャーンある  
な、ハ、チャレンジしてみたい  
かなあつて……めめめめめ  
け、それみわたし、思ひ  
ちやつて」

## 【ハチヤ】

yachi\_28  
「だいじ、 わたしゲーム大好き  
ださぶ、 [全国一位] ゼンイチ]  
だと♪ ログーマーだとかな  
れるせふの腕前じやないし。 E  
-sportsの業界団体へ。 とかわ  
いこ語全然聞かなか」

## 【ハチヤ】

yachi\_29  
「それ——も♪ ログーマー  
になれる所難性あつたとして  
も、 仕事でグームやりたいか  
……。 して、 うむ、 ちよつと  
わかんなじんだよね、 出直」

## 【ハチヤ】

yachi\_30  
「ナム、 騎ひのせ——ゲーミと  
せ運い感じで好きなんだ。  
わいわいやことやから、 あ  
と、 あいのと」

## 【ハチヤ】

yachi\_31  
「ゲームせや、 勝つて嬉しき負  
けてムカーハヒ、 もうじ上達  
したじなあつてこの樂しかった  
せふ……」

## 【八千代】

yachi\_32  
「うたは、えくへ、たる、うる  
るーんつて、じたらぬに歌つ  
てるだけでも楽しけ。だか  
ら多く、一生誰に聞かれな  
くつたつて、歌つて思  
うんだ」

## 【八千代】

yachi\_33  
「だから、や。 もしも歌つのを  
お仕事にでもたら——好きな  
ことでもお金もいざるもになつ  
たる、最高かなつて。 仕事が  
歌で趣味がゲームで一生生き  
ていきたね……わや、人  
生【確[足勝利]、かちかく】だよ  
ねーーー瞬(わやつて)」

## 【八千代】

yachi\_34  
「やしだいね? サリの顔が急  
に、ほんつて顔に浮かんでせ  
て——つて? あ  
うつ...。く、く、くんな意味  
じなくつて...。うう...。うう...」

## 【八千代】

「『応募方法：ジャンルの明確なオリジナル曲での歌畠データをド端に送付する』」<sup>yachi\_35</sup>

## 【八千代】

「いの、『オリジナル曲』って  
こののがネックで……わた  
し、しままでバンドとか歌つ  
てみたとかいうこのやつた  
ことないから、そんなのもつ  
けるわけない」<sup>yachi\_36</sup>

## 【八千代】

「それに……前の前にある?  
『ジャンルが明確』っていう  
のの意味もイマイチわからな  
くて——ほえ?」<sup>yachi\_37</sup>

## 【八千代】

「(呪吸音)——うん——う  
ん。ふーんそーなんだ、ロッ  
クとかジャズとかソウル?  
とか、その曲がどんな特徴を  
持つてるのかを示すのが、  
『ジャンル』——ふーん」<sup>yachi\_38</sup>

八千代

「えくく、やつぱり詳しいね！  
作曲してる人なだけのことば  
あるねえ、キミー。」

八千代

yachi\_40  
「え！？ 知つてゐるよ。つて  
か、聞かせてくれたじやん。  
イヤホン貸してくれてさ、  
こいつや。あのカラオケのと  
き……つて、キミ、もしかし  
てお酒飲んでたりした？ それ  
で忘れちやつたの？」

八千代

「なんかすい〜」「シノアルビーム  
ヒューヒュー——キラキラかわ  
いいやつ！ わたし、あれすつ  
ごく氣に入っちゃつて、覚え  
てたんだよ？」

八千代

yachi\_42  
「だから、」のチラシみたとき  
すぐにキミの顔が頭に浮かん  
で……相談したいなあ、して  
みようかなーって思ったの。  
なのに……」

## 【八千代】

yachi\_43  
「そつかー、キミせ忘れちゃつてたんだー『歌、す』かつたから。なんか聴いてほしくなつちやつて』とかじつたのになー——あー。」

;3/右で呪を止めて、マイクから顔をむけて独り唱

## 【八千代】

yachi\_44  
「けど、それつてもしゆす」くない。自分の曲聞かせてくれたこと忘れて——なのに、わたしの歌を聞いた」とは、褒めてくれた」とは覚えてるとか——つて、ひやつ……。」

;1/前

## 【八千代】

yachi\_45  
「あ、いりん。なんでもない。なんでもないよ。つていうか！ それよつ……相談の続きなんだけど」

八千代

vachi\_46  
「だからね？ わたし、キミの曲、キミのオリジナル曲を歌わせてもらひ——AKオーディション、できたら、応募してみたいんだけど」

二一前 詰め寄つて目を見ながら

【八千代】「…………どうかな？ダメかな？…………お願いできる？？？」

環境音工房

111

卷之三

二 前 (モノローグ扱い)

yachi\_48

よちー\_48

八千代

部屋に呼ばれちゃうなんて。  
わたし、男の子の部屋に入る  
のも初めてなのに——」

yachi\_49

『「みいつけた話になりそうだから』って言われたけど……あう……こみいつけたって——ええと、その……』

八千代

……どうしよう。いや、そういう話とは限らないけど、でも、もしそうなつたら二二三の準備全然——」

SE ドアガチャ

八千代

三  
前

八千代

「あ、あ——なんでもない。  
ちよつと、あの、考え事して  
びつくりしたつていうか—  
—つていうか、お船屋掃除お  
わったの?..?..」

八千代

yachi\_53  
「あ……うん。わかつた。それ  
じゃ、ええ——お邪魔しま  
す。ね?」

八千代

yachi\_54

;SE 小說

## 【八千代】

yachi\_55 「わ！ わ！ すゞいす  
ゞいすなんか、テレビに  
でてくる部屋みたい！…」  
ユージンシャンの部屋…」

;環境音 /自宅スタジオ  
;あたひじゅうやうじゆう

## 【八千代】

yachi\_56 「キーボードに、スピーカー<sup>56</sup>  
に、パソコンにあ！ ギター<sup>57</sup>  
もある！ ひけるの？ すゞ  
い！」

## 【八千代】

yachi\_57 「！」のシマミ<sup>57</sup>がたくせんついて  
る機械つてなに？ キサー？  
わあ、なんだかプロっぽ  
い！」

## 【八千代】

yachi\_58 「あ……（呼吸音）——ふう  
ん、そりなんだ。でいー<sup>58</sup>  
ていーえむ？ をやるな！」  
のくらいは普通つていうか最  
低限……なんだ」

【八千代】

「す<sup>yachi\_59</sup>」い、音楽つてお金かかるんだね。きっと——それでええと……わたし、ものじりなくて恥ずかしいんだけど、ええと」

【八千代】

「でいーていーえむつて、なに? それ?」

【八千代】

「うん。うん……（呼吸音）——ふうん……『デスクトップ＝ルージック?』「うん……パソコンをつかって音楽制作をする」とが、DTM」

【八千代】

「あ! わかったかも……わたしをこの部屋——キミの部屋につれてきたのってそれじゃ、そのDTMで、ひょいとして、『ジャンルが明確なオリジナル曲』へ を、作つてくれるためだとか——」

## 【八千代】

yachi\_63  
「やうじやない、 の？ ……  
なあんだ、 残念、 ジゃなく  
て？ ん？ ん？ そのまえに  
——なに？ わ！」

;SE 足音数歩 ;3/右→;1/前→;6/左前

## 【八千代】

yachi\_64  
「——れ、 見た」とある……大  
昔のフゲステみたいなのだよ  
ね？ たしか……確か——なん  
だつけ？」

;7/左 (二人横並び。やつねビゲーム画面あゆみもよで正面をみ  
て、 とあるマイク=少年の方向いていただけますと幸いです)

## 【八千代】

yachi\_65  
「あ！ やつね！ バハ  
ン！ ……すへー！ ——」 本物  
初めてみた！ —「うづうのつ  
て、 レトロゲーム屋さんとか  
にしかもう置いてないのかと  
思つてた」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_66</sup>I」の黒い、16bitで書いてあるのは?<sup>yachi\_67</sup>オメガドライブ?<sup>yachi\_68</sup>ん?<sup>yachi\_69</sup>?なんか、名前くらいは聞いたことあるかもだけど――わたしは、あんまりしらないかも」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_67</sup>あ! そのとなりのは知つて  
る! スーハミ! スーパーハ  
ミコノ! ! ! なんか、すつ  
「J」ーくちゅうやいとや、「親戚  
のおばちゃん」と「J」でゲームし  
た」とある! マルオカー  
ト! ...」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_68</sup>古臭ーつて思つたけど。でも、すつごくもりあがつて面  
白かつたから覚えてるの! ... つていうか」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_69</sup>I」れ、なの?<sup>yachi\_69</sup>Iの古いゲー  
ム機達が、わたしを、キミの  
部屋に呼んでくれた理由、な  
の? ?」

## 【八千代】

yachi\_70 「……（唇吸音）——ん。わ  
かつた。ちよつとすつだけで  
もじから、それぞれのゲー  
ムを遊んでみればいいの  
ね？」

;スカイサウナーズ

[;https://www.youtube.com/watch?v=fZLjbTZsM0c](https://www.youtube.com/watch?v=fZLjbTZsM0c)

## 【八千代】

yachi\_71 「ねえ、じゃ、ハノが、…  
…『スカイデッグ』くわ、瞑  
た！」などやー」

## 【八千代】

yachi\_72 「あ、！」がスイッチ。 んと  
——わーすいこ、画眉シン  
ブルー！」

## 【八千代】

yachi\_73 「フシシコスター。あ、これ  
がスタートボタンね？！い！  
わ、えと——あ、！」の飛行  
機に乗つてるのがわたり？」

八千代

yachi\_74  
「Jのボタン——あ、曲返さー  
た——うへ、ひやー? わー?  
わー? あへ、もう死ん  
じやうた~~~~~」

八千代

yachi\_75  
「くつそ——ひ、え？ もういいの。あ、えへへ。うん。またあとで遊んでいいなら、次行く。うん」

八千代

「次は……なんだつけ？　あ、  
オメガドライブ。これも電源  
いれて、スタート！！」

<https://www.youtube.com/watch?v=KoAyIINA00I>

八千代

yachi\_77  
「あ！」「れ知つてゐるー。ぶよ  
ぶよーーーへえええ、昔のは  
こんなだつたんだー」

yachi\_77  
「あー、」れ知つてゐる  
「ふもーーーーくえええ、  
」「よなだつたんだー」

八千代

yachi\_78  
「ふへふへ、『もんじや』  
ちちうせやつたじとおれー  
ーおれー。今のと感覚わがく  
なー? うー、おれー。  
えつ

## 【八千代】

yachi\_79  
「ううう……やうがーイホー  
バー。われながら……あはせ  
——わたしほど、対戦格  
闘以外ヤンスないなあ」

## 【八千代】

yachi\_80  
「あ……うん。ナチベーショノ  
わよのとおがわやつたけど、  
やる、わよんと。ゲーム」

;7/HK 叫ねる

## 【八千代】

yachi\_81  
「だつて」れ、遊びくわぐわ!  
とこ意味あるで♪や。 多  
分」

;7/HK

## 【八千代】

yachi\_82  
「くくうー。正解や。う、  
スト。スー、スー、ハハハ……」

;https://www.youtube.com/watch?v=D2Hbe80bp48

## 【八千代】

yachi\_83  
「スイッチオノ……あ！ 「超他  
界村」かようたかいむり  
」…………れも知つてゐ  
なんかレトロゲームの番組で  
みた！ なんだつけ、あの赤い  
悪魔——あ、そう！ テツド  
アリーマー！」

## 【八千代】

yachi\_84  
「まさか自分であの赤い悪魔と  
戦う日が来るなんて……つ  
て！？ ちよつ！ 地面動く  
の「れつ——つて、わ！？  
ひ！？ 鎧ぬげたつ！ あ  
うつ！？」

## 【八千代】

yachi\_85  
「あ——」  
yachi\_86  
「……」。つらたん。いく  
ら初見つていつたつて、まさ  
か悪魔と戦うまえに負けちゃ  
うだとか——あ」

## 【八千代】

yachi\_87  
「えと……うん。一通りプレイしてみて。あ……音楽、えと、一応、聞いてた。意識して。なんか、なんとなく、そういう流れ？ つて思ってたから」

## 【八千代】

yachi\_88  
「えと——ハミコは、もう、なんか、映画とかにでてくるみたいな、典型的なイメージの、『昔のテレビゲームの音』って感じ。♪ピピピピしてて、シンプルで……結構新鮮で新しく——つて！」

## 【八千代】

yachi\_89  
「そうだよ！ キミが聞かせてくれた曲！ あれって、ハミコンつぽかったんだね！！だからかな？ カわいいなー、って思つた。すゞく」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_90</sup>オメガドライブは……ハミコ」とぐるぐると、随分普通の曲っぽい感じがした。普通の曲より、ちょっと……なんていつのかな、金属っぽいつていうか硬い？ 機械っぽいみたいな感じするけど、そこもなんだか面白いかも一つて、わたし的には」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_91</sup>で、スーパーミミになると、もうほんと普通に音楽って思つた。なんかもう、全部の音が本物っぽくて、楽器っぽくて——うん、自然に聞けるし、雰囲気あるって思った……かなあ」

## 【八千代】

「<sup>yachi\_92</sup>あ！？ なに、え？ 正解？ わたしが？ なにが正解？？ あ……うん。あー、ゲーム機『』との、音源——その特徴……」

## 【八千代】

yachi\_93  
「うへ、えと——音源っていうのは——ふと……ゲーム機の中の、音を再生する仕組み……みたいな感じに考えればいい?」

## 【八千代】

yachi\_94  
「あ……うん。スーパーバミは、その音源? で? 8チャンネル——あ、同時に8つの曲を鳴らせるってことか——わ! 結構それってすげーじゃない? えと……」

## 【八千代】

yachi\_95  
「だつて、普通のバンドとかだと、ボーカルに、ギターに、ベースに、ドラムに、キー ボード、とかでしゃべりたぶん」

## 【八千代】

yachi\_96  
「8だつたら、それになんかもうひと豪華な音も足せるわけだし……ううん、それは普通の音楽にもなるよねー」

## 【八千代】

yachi\_97  
「うへ、なんで二ガワライして  
るの?なんか、わたし間違つ  
てる? むー、『その説明は  
細かくなるから、興味があれ  
ばまた今度』って、そんなの  
や————うへ?」

;ルイ世のコト独り聞ひふやか

## 【八千代】

yachi\_98  
「え、それって——今度つて——  
——今度つて、次の約束つて——  
とドジョウ? わ

;1/前 マイク立回り直し

## 【八千代】

yachi\_99  
「あー、うん。だよねー。今は、  
その、オーディションの、オ  
リジナル曲の話してるんだ  
し。えと——わかった」

;トントン

## 【八千代】

yachi\_100  
「…………」はまた、”今度”、  
お詫聞かせてね?」

;照れ隠し

## 【八千代】

yachi\_101  
「でー、お詫せ……んと——ど  
の辺に戻る感じなの~あ、音  
源。うん。」

## 【八千代】

yachi\_102  
「ゲーム機による音源の性能  
は全然違つて——オメガドリフ  
イブだと~。6チャンネル+3チ  
ヤンネル+ノイズが1チャーンネ  
——つて、えー~。じゃあ合計1  
0~。~。スーパー!! キラキラウモ  
多~。~。」

## 【八千代】

yachi\_103  
「けど——え? あれ? ~? な  
んでそれなりにスーパー!!の方  
が自然な音に聞こえる  
の? ?」

## 【八千代】

yachi\_104  
「『どこの辺が自然?』って——  
だつて——ひとつひとつの音  
が、スーパミの方が……ん  
と、本物の楽器っぽいってい  
うか」

## 【八千代】

「え！？ わ！ すゞいの？  
わたしが？ なにが？？』  
スーザミはサンプリング音  
源』つて——わ！ サンプリ  
ングつて、本物の楽器の音を  
録音する」となの…？」

## 【八千代】

yachi\_106  
「なーんだ、じゃあ、本物の音  
楽にできて当然——じゃ、な  
いの？「うん……うん……え  
え！？」 5秒…? 5秒つて—  
—スーザミの音源がサンプリ  
ングに使える時間つて、たつ  
たの5秒なの！！？」

## 【八千代】

yachi\_107  
「だから、0.何秒単位の短いサ  
ンプリング音源をいくつも組  
み合わせて——それを合成し  
て、長い音みたいに聞かせて  
……それを重ね合わせて曲に  
する」

## 【八千代】

yachi\_108  
「うわ、聞いただけで面倒く  
やわ——それで、ぬちや  
くちや大変——だよね？ わ：  
…やつきキミは「ガワライし  
た理由、わかつちやつた」

## 【八千代】

yachi\_109  
「それで『普通の音楽』やる  
のって、ちょっと想像つかな  
いくらい大変だもんね、絶  
対。それをわたし、出来て当  
然みたいにいつちやつて…  
…」

## 【八千代】

yachi\_110  
「つていうか、いまの話のなが  
れだと、オメガドライブのは  
音源はスーパーハミとは別のつて  
「」となるよな」

## 【八千代】

yachi\_111  
「うん——うん。——えふえむ  
音源？ やのFM音源つていうの  
は、どんな音源？」

## 【八千代】

yachi\_112  
「あ、いん。音が波だつていつ  
のせ、している。授業でわた  
し、畠ひづね」

## 【八千代】

yachi\_113  
「で、…………ふくふく。畠の波  
の形が、波形で——FM畠源つ  
てこうのは、その波形を変  
調やせる」ヒビ、複雑な倍音  
を出す」とがじれる……つい  
——わ！」おどろく、おぐわ  
かんな——」

## 【八千代】

yachi\_114  
「ん……いん——いん——（呼  
吸恤）——いん。要するに。  
『生楽器の音を再現するのは  
括手だなど、独自の音を作れ  
るシンセサイザー』——」

## 【八千代】

yachi\_115  
「（考え込む呼吸音）……つ  
て、ん……全然『歌する  
に』になつてないがなつて思  
うけど……まあ、なんとなく  
わかつたような氣にはなつ  
た。ほんと、びみょーになん  
となく、ぐるぐる」

## 【八千代】

yachi\_116  
「あれ？ カゼや。つていうか  
そしたら——オメガドライブ  
より古いベミコンついで、その  
『独自の音を作る』ソルガ—  
一ええええ！？ やっぱ  
り！？ そういうの…？ でき  
ないの…？」

## 【八千代】

yachi\_117  
「独自の音をつくれないのに?  
え？ でも、さつきのゲー  
ム——スカイドッグって、  
ちゃんと音楽なつてたよね？  
え？」

八千代

yachi\_118  
「やれじゃあアーニー、いつた  
ことやりつて作曲してるの  
～～～？」

S - ! . ? [

環境音 10

;Track2.5 八千代のモノローグ

14

：編集で他のパートとは違つこと云わると嬉しいです

卷之三

vachi 119

八千代

「ふう（適当に）鼻歌お願いします」

す

SE シャワー止め

楊柳青

元  
千  
弋

yachi\_121  
「×□トヤー、×□トヤー。×□トヤー！」

SE シャンプーのポンプ。すかづ

yachi\_122 「ねえ?」

八千代

SE ガサゴソ

## 【八千代】

yachi\_123  
「新しーの、新しーの……」

;SE;八千代の声。笑み

## 【八千代】

yachi\_124  
「ん……」

;SE (環境音的) ハヤハペードンやか  
:ハヤハード流す声、ストレートのヤコト難ハヤハペードン體の、  
トトハベドお題こづれす、

## 【八千代】

yachi\_125  
「……確かに説明——覚えられ  
ない感じだったけど、聞さん  
ばんでパンクしかよこない  
だったけど……それでも、そ  
れでも……」

yachi\_126  
「……」

yachi\_127

「……れども。なんが、いつも  
くせぐるがそれぢやつた感じ  
かなー」

## 【八千代】

yachi\_128  
「『ヤンスがじーのせよくわ  
かつた』って」

【八千代】

yachi\_129  
「ヤンスがふらつて迷おられた  
のせ、えくくへ、やむへん嬉  
しじたゞ、でも——」

【八千代】

yachi\_130  
「ヤンスつて、何のヤンスなん  
だろ? ゲームやつて、音楽の  
感想じつだだけ……ヤンス  
なんて、そんなのわかるわけ  
ないもねー、たぶん」

【八千代】

yachi\_131  
「なの——『曲提供をあらゆるか  
どいか、あと日本版曲をため  
やかでせし』つて」

【八千代】

yachi\_132  
「……だからメロディーを作つ  
てやしてほしことか、素人のわ  
たしにこりゃなつかんて……メ  
ロディーなんて、わたし、つ  
くつた」となーの——」

## 【八千代】

yachi\_133  
「鼻歌をスマホで録音するだけ  
でかもわなし……。でも、いつ  
てくれたナビー。鼻歌だつ  
た、ハーヒーハヤトヤマニーに  
歌うしるナビ。だナビやん  
な、こ、鼻歌がタイミングよ  
く丑い声のでものどもなし  
し——ねー。」

;SE ハヤト一撃

## 【八千代】

yachi\_134  
「ん——」  
;SE ハヤト一撃。腹風呂場や歩く、ペダペダ

## 【八千代】

yachi\_135  
「おかーれーんー おのやーー  
！」などだせぬてくれたで  
しょ。わたしの鼻歌、『あ  
、ひ、こう曲ね』って」

## 【八千代】

yachi\_136  
「あれやー、わよひとドも覚え  
てたことかしないかな? わた  
し、メロディー! 作るのチ  
ヤーンハジレみたいんだー」

;SE 聰境部 F.0

;//////////

;Track3 並用 step by step..

---

## 【八千代】

yachi\_137  
「～（曲のナビ）の部分だけ、  
鼻歌アカペラで」歌畠ぐだや  
じ）」

;10/右前遠

yachi\_138  
「え？ あ、オッケー？ オッ  
ケー、オッケー……」

yachi\_139  
「……………おはあ〜…  
れ、れ、緊張した〜！…」

・環境音 血中ベタジホ

## 【八千代】

yachi\_140  
「ど、ど、わたくし、わたし—  
わたし、ちやんと歌えてた?  
声とか、ふねたりしてな  
かつた〜。」

## 【八千代】

yachi\_141  
「うへ、やつやつださー。キ  
ミひとつの前でうたうので緊  
張してたら、プロの歌手にな  
んになれ！」などナニー！」

;/////////

:SE クリックドウハント カツ、カツ、カツ、カツ  
:ボーカルマイクREC ステレオで聞かせて

## 【八千代】

yachi\_142  
「でも、鼻歌！ メロトマイー！  
|||われたとね、スマホに  
録画したの覗いても、ぬるり  
て思つてたのニ~」

## 【八千代】

yachi\_143  
「なのこじきなつ！ こーんな  
立派なマイクの前に立たせ  
て、『歌つて』なんて！ い  
や、『安物』とかそりふう語  
じやなくつて！ その、いき  
なりレポートイング？ とか  
いわれた」とどがわつ……」

## 【八千代】

yachi\_144  
「おつかなじし、意味わかんな  
いし、緊張しないわけがない  
——く~」

## 【八千代】

yachi\_145  
「……（唇吸音）——意味、わ  
かるの〜。キミの座つてる席に  
すれれば、ついさうか、あー  
一交代するのね？ 場所」

## 【八千代】

yachi\_146  
「それもまた意味分かんないけど、えへへ、なんか楽しそ！ わかつた、それじゃあ、タツチ交代！！」

：移動 室内足音 :10/右前遠→:14/後左遠  
;16/左前遠→”お椅子へへへへ” 以降;10/右前遠

## 【八千代】

yachi\_147  
「えへへ、キミの席と一つぴ！  
お椅子くるーん！！で？  
次はどうすればいいの？あーーへッドホンつけるの？」「  
れね？ で？ わー？」

## 【八千代】

yachi\_148

「あーあーあーーーす”じ、す  
“ごいね、全然違う！！！キミ  
の声——キミがマイクに向  
かつてしゃべった声！へッド  
ホンつけたら——わ！ えへ  
へ」

## 【八千代】

yachi\_149  
「へッドホンはずすから、それ  
でしゃべつてみて？んしょー  
ーわ。うん、ちがう、全然」

## 【八千代】

yachi\_150  
「くレドノウセトマイクに向  
けた顔面じるねー もののす  
ゞゞの顔がクリアに——  
あー わかった!!」

## 【八千代】

yachi\_151  
「わたしの鼻歌。クリアに向  
けよう聞いてくれるため——そ  
れでわたしに、マイクに向  
かって歌わせたんだ!」

yachi\_152  
「あー。やつがー、やつがーた  
んだねー。總練した! う  
ん」

## 【八千代】

yachi\_153  
「せー…………くく、ちょっぴり  
それはそれで恥ずかしいか  
な。わたしの鼻歌のメロデ  
イーなんか、クリアに聞いて  
も、ひつとも——!!? 意味  
あつたの? 十分?え? な  
んで? ん?」

八千代

yachi\_154  
「あ、」つちくねの？わたし  
戻る？戻らなくていいの？  
お隣？」

SE 椅子をもつてくる

→ “じゅうじゅう”で; 3/右の顔ダリーケレドと回る回転

八千代

だねー

右 摥近囁き んふふは離れながら

八千代

ふ  
つ  
」

1/  
前

八千代

「え？ あ、はい。顔のむき——画面の方むく——」「う？」

右ノダニークシヅト回ニ回ル; 3/

「ときどき、ダミーへツドの方向

八千代

「で～く、SE 源再生のためのクリック音など～わ！」

「音源再生…ステレオ、シンセ音でメロのおざるどー」

八千代

yachi\_159

鼻歌！？わたしの！？  
わたしの！？わたしの！？

1/前

## 【八千代】

yachi\_160  
「えー？　うへ、どうして！？  
“うやつてー？なんでわた  
しの鼻歌が、楽器の音になっ  
てるの？」

## 【八千代】

yachi\_161  
「『耳 パ♂ル』　耳で聞いた音  
を、そのままパ♂ル。パソコン  
上の楽譜になおして、それ  
を鳴らしてる……」

## 【八千代】

yachi\_162  
「（考え込む呼吸音）—  
—つ—！—！」

## 【八千代】

yachi\_163  
「つまりそれで！　わたしの  
鼻歌、ヘッドホンで起きながら  
り、ほとんど同時にこれつく  
ちやつたついとどしゃー？  
す」「じす」「じす」「ふー キミ  
天才じゃん！！！」

## 【八千代】

yachi\_164  
「『作曲しinる人間だつたら誰  
でもじゃれ』——つて……なら  
それは、作曲しinる人みんな  
天才つて！」とがむへわたして  
わにせ……」

## 【八千代】

yachi\_165  
「でも、そつかー。えくくくく  
……わたしの鼻歌が、楽器で  
鳴らしただけであんなに音  
楽つぼくなるんだねー。なん  
か、すうじね！ 作曲つ  
て……」

## 【八千代】

yachi\_166  
「ほえ？ 『メロディーをつ  
くつただけじや作曲じやな  
い』のて——ええと、だつ  
て？ 曲のて——歌つて、メ  
ロディーの「ルシ」やない  
の？」

1/音→"せぬこ、 も ;3/右' ダリ一くシテル画シ視線

yachi\_167  
「あ、うん。わかつた。また  
あつちむぐのね？ はあい！」

## 【八千代】

yachi\_168  
「あ、そか。」つちむくのつ  
て、スピーカーの関係なん  
だ、たぶん。あつあむ！」ち  
にあるやつの」

## 【八千代】

yachi\_169  
「「」がちよ「」真ん中だか  
ら、まつすぐ前むじてると、  
一番いい感じに音が聞こえる  
んでしょ？ でしょ？  
わ！」

〈音源再生：コグマセシム+メロトヤー〉

## 【八千代】

yachi\_170  
「……………（感動+驚き+戸惑）

吸う）」

1/前

## 【八千代】

yachi\_171  
「えつ…。いまの、いまのわ  
たしの鼻歌だよね…やつきと  
おんなじメロディーだよね?  
なのに——なのに全然違つ  
た！」

## 【八千代】

yachi\_172  
「トホホ」<sup>トホホ</sup>と出しゃせりたつてい  
うか……弾んでたみたいで、  
メロディーに、元氣に走れる  
足とかついたみたいな気がし  
た」

## 【八千代】

yachi\_173  
「違ひ? わかる! ドラムと  
かでしょ? それが増えて—  
増えたらむへーなんかメロト  
イーだけだったとかも、全然  
違つて——」

## 【八千代】

yachi\_174  
「(呼吸音) (呼吸音) ——リ  
ズム。いまのは、メロディー  
にリズムがフワスされた状  
態」

yachi\_175  
「うん……わかつた。感じた。  
リズムがはいつて、メロディー  
イーだけだったときより、  
ずっともつと曲っぽく——つ  
て! あ! だから? だか  
ら、『メロディーだけだと曲  
じゃない』の?」

---

## 【八千代】

yachi\_176  
「あせー… やつぜつやつなん  
だねー。今田さ、メロトトイ  
とつづくがあつて——え？ あ  
ともう一つ大事な要素がある  
の？」

;1/前→“準備オッケー”ド;3/右

## 【八千代】

yachi\_177  
「それひになに？ あ。うん。  
わかった——準備オッケー、  
じつでも“えいが”？」

▽脚本：ローラン・コバヤシ+メロトトイ+ハ

## 【八千代】

yachi\_178  
「（感動の呼吸）——わ——  
わ、わわわ、わああつ  
！ …」

1/前

## 【八千代】

yachi\_179  
「す“ふ“ふ“ふ“ふ“ふ“  
い…え…え…ふ“ふ“ふ“ふ“  
ね？ もう歌詞全こ曲だよ  
ね…？」

---

## 【八千代】

yachi\_180  
「なんか、増えた！ ジヤー  
んつていうの……そしたらな  
んか、なんだろ——なんてい  
うの？」

## 【八千代】

yachi\_181  
「音が……曲が——ふくらんだ  
みたいな気がした。ふわって  
したり、しゃってしたり——  
あ、表情……うん。表情がつい  
た気がした……」

## 【八千代】

yachi\_182  
「！」れひ——『ピーチ』？  
あ！ 聞いた「J」とある。バ  
ンデしてね！」が、『FG ピーチ  
が振えられない』ってひび  
るアレ…」

## 【八千代】

yachi\_183  
「な、な、な、曲ひ——『メロ』ト  
イーとコズムとピーチ』な  
の？」

## 【八千代】

yachi\_184

「あ……（呼吸音）——うん。  
厳密にせ、口—アーティヤなくて  
ハーキーー? なんだ。ふた  
つ以上の音が同時にになっている  
のがハーキーーで。ハーキ  
ーーの中の、特定の組み合わ  
せに名前をつけたものが口—  
ア、なんだ。ふうん」

## 【八千代】

yachi\_185

「それが、作曲の三要素——メ  
ロ“デ”イーとコ“ズ”ムとハーキ  
ーーを揃えて、はじめて、作  
曲」

yachi\_186

「やうなんだね～! す“ジ”ー  
ぬかやくちや勉強になつ  
た!! だから作曲はメロ“デ”  
イーだけじゃダメ——つて、  
え!? ちょっと待つ  
て……。」

## 【八千代】

yachi\_187  
「な、今のでやべ玉来てるん  
じゃないの？ 曲。オリジナ  
ル曲！ だつてメロディーもリ  
ズムもハーキーーも……  
あ！」

## 【八千代】

yachi\_188

「……（呼吸音）——だね。  
そつか。確かに。『最低限』  
なんだ、これだと。……（呼  
吸音）——格ゲーで、基本口  
マンドをひととじり覚えたく  
らひじや、そのキャラ使えて  
るつてこえない……うん」

yachi\_189

「……ありがと。そつか。その  
たとえだとわかりやすいや。  
オーディションひとつ、格ゲー  
だったら全国大会みたいなも  
んなんだもんね、きっと」

## 【八千代】

yachi\_190

「基本口マンドも「へやく」覚えた  
くらひじだつたら、予選通過  
だつてできなか……  
あ」

## 【八千代】

yachi\_191  
「じゃあ、それなら、もう  
かしたるや、オーデン三ノ人に  
あつた、チラシにあつたく;SE  
紙ペラ」JG『ジャニールが明  
確なオリジナル曲』のジャニ  
ルつて……」

## 【八千代】

yachi\_192  
「格ゲーでじつだる、どこのキャラ  
ク使つて戦つかみたいなもん  
なの? わうなの? やつ  
た――――――」

## 【八千代】

yachi\_193  
「で? うん――。今みたいな  
スタンダードな、いわばポップ  
フスアレンジはキリのジャン  
ルじゃないの? そか、そなん  
だ。今のみたいのは、スペ  
ゼロでいつたら、ケンリュウ  
みたいなキャラなんだね、た  
ぶん」

## 【八千代】

yachi\_194  
「万能型で、誰にでも扱いやす  
いけど、その分めちゃくちゃ  
奥深い、みたいな」

## 【八千代】

yachi\_195  
「やれじやあ、やれじやあ、キ  
/// キヤウ——キ/// の得意な  
ジヤンルの名前せ、なんて  
エーグー。」

;環境畠 F. O.  
/////////  
;Track4 ハラハラハラーハ...  
/////////  
;參) <https://pudding.cool/2018/02/waveforms/>  
;SE 矩形派の畠  
;3/4#

## 【八千代】

yachi\_196  
「.....アーベル、」の畠が、クケ  
イハの畠。クケイつていづの  
は、四角形の「J」とド、波形が  
四角形をして畠だが、ク  
ケイハ」

## 【八千代】

yachi\_197  
「オッケー、わかった。」  
で覚えた。多分」

## 【八千代】

yachi\_198  
「そしたら次は? あ、マウス  
で「」のスライダーを動かす  
の? 好きな方にでいいの?  
そしたら——右に...」

;SE 矩形派の畠大やくばる

---

## 【八千代】

yachi\_199  
「わー? ボリュームあがつ  
た!...あ、うん。画面にでて  
るクケイバの形もおしゃべ  
なつた。うん……うん——  
(唇吸音) ——」

## 【八千代】

yachi\_200  
「振幅……波の継幅が大きくな  
ると、同じ波形の音でも音が  
大きくなる。うん。オッ  
ケー、！」わわがつた気がす  
る」

## 【八千代】

yachi\_201  
「もうした!、今度は」のちの  
スライダーへ。じやあ今度は  
——左にぐいー

:SE 矩形派の音量へ

## 【八千代】

yachi\_202  
「わー? 今度は波形が——矩  
形の横幅がひるーくなっ  
て、音がものす!」く低くなっ  
た」

八千代

yachi\_203

ライダーを右にしたら——え  
いっ！」

SE 矩形派の音高くなる

yachi\_204  
「え、お前、何者だ？」  
「…………横壁がやがくなつて、相嘗くなつた…………」

;SE ストッフ

卷之二

「いまのつて、なに？うん——  
横幅が周波数。一秒間に、矩形  
波が繰り返されるか——  
あ！」

1/  
前

【八千代】  
「ながーいのは遅いつてことなか。  
波が遅いからが音が低くて、短いのは波が早いから  
高くなる」

yachi\_207  
「正解? もう少しだけやる」

yachi\_207 「正解？」元々「？」が入る

## 【ハナゼ】

yachi\_208  
「悉く? 『！」ねが！」ないだの質問の姫様』へ……！」ないだの質問ついで……ね……わかつた! 瞬く丑したーへ〃口」の姫様の詰だー」

## 【ハナゼ】

yachi\_209  
「『ハリロハセ類曲の姫をつくれなご』カゼ、『わやくも曲を演奏でやれ』のせ——ひとつの波形——一 種類の姫でも、姫やとか大それとか、ひとつひとつの姫の声やが揺れも変へるんだから」

## 【ハナゼ】

yachi\_210  
「それだら、わやくも口アト  
イーを……ヒト——」

## 【ハナゼ】

yachi\_211  
「ハリロハセ、先生……質問で  
す……わいわい、曲せつづくとメロド、ヤーハー中——ヒト、  
じついたゞこよ。」

八千代

「それを、たつた一種類の壇だけであって、ぬちやくちや無理ゲー——あ！？ 一一種類の音だけじゃないの？なんだー、そーだよねー、そりやそりだー」

八千代

*yachi\_23*  
「ふむふむ。ハミコの音源が扱  
えるのは、さつやと同じ、四  
角い波形の矩形波が2チャン  
ネルと——」

八千代

yachi\_214  
「波形が三角をしたる三角波が  
1チャンネルヒー」

八千代

yachi\_215  
「あとはノイズ音源——音程を  
まつたく持たない音源?  
あ、テレビの砂嵐のボーカルって  
いつのみたいなの?」

八千代

yachi\_216  
「ふんふん。そのノイズ音源が

## 【八千代】

yachi\_217  
「たつたの4なの…。しかも  
ーつせノイズつゝーー(呼吸  
音)—————。」

## 【八千代】

yachi\_218  
「確かに……ゲームは、の効果  
音でも、チャンネル使つから  
——効果音なつてゐるやせば、  
3チャンネルしか使へないん  
だーべ〃『八音源……』」

## 【八千代】

yachi\_219  
「それで——あのー もつか  
い！ もつかじゆうへどだけ  
遊んでみたい？ 『スカイ  
ドッグ』」

1/撮→;3/撮→;11/撮

## 【八千代】

yachi\_220  
「ねつがと—————」

;SE 電源ボタン音。スタートボタン連打  
;SE バカラマニアックBGM (和風BGM)  
;11/撮

## 【八千代】

yachi\_221  
「あ！」ふ……ふくらは無理ゲー状  
態で、『こんなこと』『』か  
わいかつこふくらは無理ゲー状  
態で、『こんなこと』『』か  
なんて——『』

前編 11/右轉→3/右→1/前

1 / 前

八千代

yachi\_222  
「」れが?——キミのジャヤハ  
ル? つて——あ……!

! ! ! !

八千代

yachi\_223

らったあの曲！そつか、あの  
ピコピコでキラキラでかわい  
いのって、もしかして、ハミ  
コン音源で作曲してた

驚きから、段々真剣に

八千代

(呼吸音) (呼吸音) (呼吸音)

yachi\_225

八千代

「チップチューン。それが、キミのジャンルの名前」

yachi\_227

「ハミコンの音を主体に作曲するのが、キミのチップチューンなんだ」

八千代

「おしゃれじゃないがいい...  
なん、やつれのメロトヤーを  
ナリのナシ♪ナニー♪ナニ  
ナニ——!—?『血煙がな  
い』ハハ、なんだー?『いい  
しハ...?』」

八千代

チップチューンは制約だらけで、自由じゃないから? キミの曲の、チップチューンアレンジのせいだわたしがオーディションおちちゃつたら、つ

前接近(つめより)

八千代

yachi\_230  
「え！？ そんなのだつて、キ  
ミに頼んだわたしの責任で  
しょ？ 誰がどう考えたつ

て

## 【ハチゼ】

yachi\_231  
「痛絶があつても… 血田”」や  
なぐりも…それが済ませ  
と、あのキリキリを出な由一  
じゆうだい、わたし、暁の  
し」

## 【ハチゼ】

yachi\_232  
「われやつはによふ、 わかるや  
オード・イ・ソノ歌士のせわ  
たし——#」

1/総 (ソラノト感ソド思議セム)

## 【ハチゼ】

yachi\_233  
「遙（とほ）か……よだ、 それ。 ゆく者  
えたり——ひひそ、 ゆく者  
なくつてもわかる」

## 【ハチゼ】

yachi\_234  
「遙（とほ）か。 ゆく。 わたし、 一人  
でオード・イ・ソノ歌士のん  
じやなくなる。 ナリの曲を、  
もしも歌わせてもいいのんな  
い」

## 【ハチヤ】

yachi\_235  
「(呪吸壙) .....だめだ。  
わたしゃねいへ毎日。ナリの曲  
でホーリトベラ、アハマタのウ  
レ、ナリル一縦ノホーリトベラ  
アハマタのア、歌合の回  
レ。歌わせやホーリトベラ、  
アハマタのア」

## 【ハチヤ】

yachi\_236  
「おおお.....おおー、おおおや  
籠袖立脚アヒー——ホーリト  
ル曲、おおひしのねのあひたら  
歌わせやホーリトベラ、アハマ  
タのア——」

## 【ハチヤ】

yachi\_237  
「(呪吸壙) (呪吸壙) (呪吸  
壙)」

; 麗山ナリ

## 【ハナゼ】

yachi\_238  
「おの——れの、うせせせせ、  
「」おんなれこ。わたし、歌わ  
セレモニイウスルヤ、ホー  
トーマンノセテヌヒトスル  
も憲益も、おなぞくねや——  
ものか、」  
「鮮く輝くやつ

## 【ハナゼ】

yachi\_239  
「ハハス。今も木瀬に  
せ、心の極めや、大事めや、  
ほとごわかのひなこのかも  
ださぶ——」

;1/福 一 細君のこゝに着隠隠

## 【ハナゼ】

yachi\_240  
「ださぶ—— われども——わか  
りなじなつこ拂えい、それで  
も、わたし——」

1/福 細君のこゝに着隠隠

## 【ハナゼ】

yachi\_241  
「……わわども。ナリ立お隠い  
したじの。ハハス、ねいたぬ  
じお隠いづめや」

1/福

## 【八千代】

yachi\_242  
「(畠を吸い)。——。わたし  
と一緒に、キミのナシ♪チ  
ムーハド。ホート・イシワハー  
—AKトート・イシワハーを吸ひて  
くだれど」

## 【八千代】

yachi\_243  
「畠田せ、どうでーあのとせ  
に、おち上ザのとせに畠かせ  
ても、ひた曲のキワキワ、わ  
たしの畠せ、ごめんでも鱗やか  
に残つてねか、ふ」

## 【八千代】

yachi\_244  
「畠源の」と、曲の「と、教え  
ても、ひた。キミがどんなに  
音楽を、チップチューンを大  
事にしてるか、大好きか、わ  
かつたやうな気がしたから」

## 【八千代】

yachi\_245  
「わたしの鼻歌のメロトレー  
を、あつとい間に曲にして  
も、ひいたの感動した——感  
動して、それで——だから」

## 【ハナゼ】

yachi\_246  
「あのメロトマーが、本物のキ  
ミの曲」。チップトマーの  
曲になつたの、黽勉した  
じつし、わたし、思ひ」

## 【ハナゼ】

yachi\_247  
「あの回憶も回憶も… わた  
しが歌ひてみたこの曲—ほ  
んと今、せんと懐か  
い…」

## 【ハナゼ】

yachi\_248  
「うー、……………」

;歌に歌ひだされ→ | 細トがる  
;9/温瀬

## 【ハナゼ】

yachi\_249  
「うー、」れ、わたしの細々  
“さつからだよな。キミのメリ  
ツト…なんにもなこやね。  
……ナシウ——ナシ——それ  
でも、わた…」

## 【ハナゼ】

yachi\_250  
「…」

## 【ハチヤ】

yachi\_251  
「(たお、ひのい、いじだせな  
い) .....。つーあの、  
ね? めの.....喧嘩とせ、全  
然違うかわしれなく、だか  
るか?」「バカな、睨むばす  
れの!」とつむやつむやつむ  
ー」「あんたがこの時計は  
ど」

## 【ハチヤ】

yachi\_252  
「だ!さー——われども。ほわ  
てほしこなつて時計かい。イ  
ヤだつた!のやおぬか、む.....イ  
やにならまでは、聞くても、  
えたむられし——です」

## 【ハチヤ】

yachi\_253  
「ええと、わたし。ほ、ひ、格  
ゲーだ!さうまごどしゅへ。ひ  
も、みつてもまだ高一だし...  
...全一(ゼンイチ)とかせと  
ても狙えるレベルじゃなく、  
——だけどそれでも、結構ゲ  
ネでだと、あのゲーセンでだ  
と、勝率高い方でしょ? 今  
は」

## 【八千代】

yachi\_254  
「でも、母御のとや。せじゅ  
て本物のゲーセンのうし、は  
じめてお嬢がこ座つたとれせ  
—— 本田、お詫わせねやつ  
て」

## 【八千代】

yachi\_255  
「——本田せ、わたくしを競て  
てたのになんだか勝てちゃつ  
て。それで三本田“キツギリ”で  
負け——わたし、恥つた  
の。『あ、いま接待プレイヤーを  
れたんだ』って」

## 【八千代】

yachi\_256  
「お、わでせ、プロゲステ4版で  
は、トロフィーもちろん。フワ  
チナだし、オンラインの対戦  
でも結構イケてたから……ウ  
ソつて感じで、ちょっと、味  
然としちゃう」

## 【ハナゼ】

yachi\_257  
「おひなこでいたる、故郷の  
匂いのじた人が「ヤーヤー<sup>ながひ</sup>、『悲しかつたねー、  
いじ勝負』とかじつわせー  
ー」

## 【ハナゼ】

yachi\_258  
「あの「ヤーヤ」を睨む瞬間、顔  
筋、ものすく「ゲラフヒヒー  
て。お嬢が少し戯れてやつ  
て……」

## 【ハナゼ】

yachi\_259  
「連なるのと、疊けなこのと、  
シロシクだつたのと、怖かい  
のと——多分、他にもいろい  
ろ、いろいろ、全端になつて  
畢つ極めてしまつ——他になん  
にも止めなく——わたし、  
逃げたの」

## 【ハナゼ】

yachi\_260  
「逃げやつたのも、全然ダメ  
で。みんなに楽しかつたス  
ペゼロが、一マクロ、も楽し  
くなくて」

## 【八千代】

yachi\_261

「…………おかねれどにも、『女の子がそんな野獣なゲームなんて』って前からの嫌い厭なれてたし……ああ、やつらのかなあ、みたいに、思つて」

## 【八千代】

yachi\_262

「…………船頭、さうつたの。パンノン船。パンノンのゲームとか面白いかない。実際、楽しかったんだよ……樂しければ樂しいほど、『スペゼロの方が面白』って、それでもね？ わたし、思つちやつて」

## 【八千代】

yachi\_263

「だけどね、わたくし帰つて遊ぶとつまんなくつて。それでわたしだけセンジスペゼロやつて勝たないと、もつとスペゼロをまた樂しく遊べないつて、思つて」

## 【ハチヤ】

yachi\_264  
「ゲーヤ、ノド勝つても樂しくな  
かったら、それがやがて苦の盐  
なんだから——どくねこ」  
も、絶技一勝だせしものへ  
て。100日ださ、ハハハイハイだ  
け。握りしめの像を玉手」

## 【ハチヤ】

yachi\_265  
「お、わの先づのあのゲーヤ、  
は……極めて、アヒートも入  
れなかつたから。お、いざ  
躊躇の回り、ハジキモトヤ、  
あひだらねの、思つて」

【ハチロク】「ふねでせじまつ、ゲネに入つたの。

看板見て、『ゲネホールローブ』って意味分かんない名前だ  
なあつて思つて。

それで今しだけコトハクスドモレ、入れたる」

## 【ハチヤ】

yachi\_266  
「ぐだぐだ漸くつたのも逃げ  
ねやうやうて思つたから、村  
戦役、人がこねやつの回かい  
に座つて100日しゃべ——ハ  
イして。——あした、も——ら  
ボノボノ」

## 【八千代】

yachi\_267  
「一本皿[さわらわ]れで。一本皿も全然歯が立たなくて——でもね？ わのとわ、わのそれ体、勝手に動いたの」

## 【八千代】

yachi\_268  
「皿金こ器も‘いれてるから’、絶対「超必殺技’をやうらへ」で終え、わせに「ねつて’、都合のむりも叫く多分、体の方が動いてくれて」

## 【八千代】

yachi\_269  
「超必ださせ皿かかり潰して。そのあと一撃間違えて、口ノボでやられちゃつたけどーーー」

## 【八千代】

yachi\_270  
「負けて——ボロボロに雑魚く負けて。なんにもダメなかつたーつて思つて。悔しくて。ほんと、ふつーにムカついて」

## 【八千代】

yachi\_271  
「それがわたしー 楽しかった  
のー！ スペゼロ、ひやひやに  
プレイしたー！ つて！ 楽し  
いなおつて！ 智つたのー！」

## 【八千代】

yachi\_272  
「やー」かせ……ヤリモ、なんと  
なくぐるぐる知つてくれでね  
月水金の四日から五日まで  
と、お小遣い残つてゐるお小遣  
いもんのお休みの日は、お店  
通つて、わたし、スペゼロ、  
やれるだけやつ」んで」

## 【八千代】

yachi\_273  
「お店でせかなり強い方になれ  
て。大会、地区予選なり  
ちょっとせ勝てるもんになつ  
しゃれ——つ」

## 【八千代】

yachi\_274  
「だから、わたし——なんだか  
思つの。ぜんぜん違うのかも  
しれないけど——それでもわ  
たしさ、思つてゐから聞いて  
ほしきの」

## 【ハチヤ】

yachi\_275  
「ホードーハーハーハー、わたし  
が100疋ださ壁マーハー。せじ  
めし跨切渡つてお世マーハーた  
—あの田の戸戦但とおんな  
じなえじやないかつて」

## 【ハチヤ】

yachi\_276  
「戸戦但と壁マーハー、や。100疋入  
れで。あの田のわたしがボッ  
ロボッロヒ負けたけど。一発  
だけは戻せたせど」

## 【ハチヤ】

yachi\_277  
「例えせ、なんかのまぐれで  
勝つても。ただの一発も返  
せなくつて、連續完封で負け  
てしま」

## 【ハチヤ】

yachi\_278  
「それでわたら——じんな結  
果だつたとこにも、スペゼ  
ロ、また樂しめるよーになつ  
たんだつて思ひの。やへど。  
けど、ね。ださど……」

## 【ハナゼ】

yachi\_279  
「モーヤねのじゃ、100日「わな  
いじで壁ついたる——多分……  
わたし——あれ……お  
れ……」」わつわやうせつ、  
全然違ひ……」

## 【ハナゼ】

yachi\_280  
「だつて、オーディションハウジ  
なくつても、別にキミ、チツ  
プチユーン嫌いになるわけな  
いし、やかないだの」「——  
あ」

1/福（痴着/手袋/靴下/腰带/腰带）

## 【ハナゼ】

yachi\_281  
「あ、あ、あのへ、『——

## 【ハナゼ】

yachi\_282  
「あ——あ——あ——…」「  
ん、ほわつたんな、あ」「  
嬉しじ……わたし自分で、な  
にいたかったのか、はつき  
り軒葉にできてないさど、そ  
れでもなにか、ほわつたな  
ら、あ」「嬉しそ……」

## 【ハチゼ】

yachi\_283  
「えへへ、わわじやね——（呪  
吸姫）ねいため、わへ |

回、ね願ごーとか」

## 【ハチゼ】

yachi\_284  
「わたしひ曲を、作つてください。  
い。ナリのキワキワのチップ  
チューへや、わたしひ歌わせ  
てくだやこ」

## 【ハチゼ】

yachi\_285  
「わへへトシハが、わたしひ  
緒に——AKホーティシミハ  
を、吸士てくだやれ——へ  
——へ。ハハハハ... —— 製約  
金——... 〇.」

## 【ハチゼ】

yachi\_286  
「わたし、高校生なの——つ  
てういか、今の話の流れで默  
約金の——ねへ...」

## 【ハチゼ】

yachi\_287  
「あせせへ... オッケー...! わ  
かつた... れねね... なるほ  
どねー... もちろんかねか  
る... 契約します...」

八千代

yachi\_288

イン！！！」

【八千代】  
「えへへー」れで契約成立ーキ  
ミとふたりでーー♪レイーー  
スタートーーーーーーーーーーーーーー

yach\_29  
「え」  
スタミ

三

11

卷之三

111

右前遠

八千代

yachi\_290  
「(迷因吸)」

環境音 國學文化研究

八千代

yachi\_2y  
「…………大丈夫。 ど、思ひ。 もう

がにちよつとは緊張してゐるけど――でも大丈夫

八千代

yachi\_292

わたしはいつでもいけるから。キミのいいタイミングで――お願い。はじめて？」

環境音 E.O

「演奏パート。クリックから入って、ステレオで完成楽曲を1コーラスかフルコーラスか聴かせてください」

;/////////

;Track6 ハローラブレット---

;/////////

;SE ×→炎

1/編

yachi\_293

## 【ハナゼ】

yachi\_294  
「今、終わったんだよね。  
メール送信。ついでに返せ  
……おせせせつ！ 応募証」

だねー オーディションへす  
ゞゞー やつたーーーーーーーー  
動だーーーーーーーーーーーーーー

## 【ハナゼ】

yachi\_295

「おっがとねー！ ほんとおりが  
とー全盛ヤマのねかざーーー  
オーディションへの結果はどん  
なるかわからぬじさー、もー  
もダメでも、ダメだとし  
も」

## 【ハナゼ】

yachi\_296

「ねたー、ヤマヒ教へてもひひ  
た。曲ひてなにか、唄ひてな  
にか。唄歌ひて、歌ひて、ど  
んなに素敵で楽しけ」

## 【八千代】

yachi\_297  
「『歌手になれた』の樂でや  
そー』つて、アホアホな！」と  
考えたけど——えぐく、そん  
なこと、おねがいなこと、  
教えてもひつだ」

## 【八千代】

yachi\_298  
「スバルタだつたもんね！  
ボーカル練習……音がちよつ  
とでも“あれい”と、『作曲し  
ないじもい“まおかー』つ  
て、嫌味つぽきしゃー」

## 【八千代】

yachi\_299  
「歌詞も……あはせ、あんなに  
大変と感わなかつた。たたた  
た一で伸ばしたいのに、たた  
たたたの五音だからとか  
さー、伸ばした方が絶対に響  
くし歌いやすいのに！」

## 【八千代】

yachi\_300  
「でも……うん。お“く楽し  
かつた。教えてもひつだ」と  
も、生意氣いつて——いわせ  
ても、お“く楽しつかったこと  
も」

## 【八千代】

yachi\_301  
「ふのかつじゅうじ、ふたり  
で一緒に姫様をひいた瞬間  
とかつじ、せとど、サイドー  
だなー、つじ照ひた。ひとつ  
じうたつじゆれもつも、大  
金で勝てたとれども、もつ  
じうひのと、ハイパーだなつ  
じ」

## 【八千代】

yachi\_302  
「だから……おせせ——ナイン  
三に」とくわうだいたんだ  
せせ」

;3/4 撥送量

## 【八千代】

yachi\_303  
「オーディン三。七歳おわつ  
わやつたのわやつむれな  
じ。わやつむつじふか——  
結構、アーヴ」

1/4 丘慈ひじ、だきらひじ、照れひ、決意

## 【八千代】

yachi\_304  
「……（唇吸音）（唇吸音）  
(唇吸音) (唇吸音)」

## 【八千代】

yachi\_305  
「だから、あの、や。わたし、  
寂しきのイヤだから——あ、  
違う。イヤだからとか、やう  
じいへんじゃなくつと、『え  
と—』」

## 【八千代】

yachi\_306  
「わたし、や——好きに、大好  
きになつねやつたみたいな  
の。ヤツと一緒に曲つくり  
て、うたつて、休憩だつて  
いつてゲームして、りんご♪♪♪  
ユース飲ませても、ひつて……  
そういう時間が。」の端屋  
が」

## 【八千代】

yachi\_307  
「それで——だから……多分、  
だけじ……」

yachi\_308  
「恋とか、わたし、した」とな  
くつ——だからなにか違うの  
かもだけど、勘違い、してる  
かもなんだけど……」

## 【八千代】

yachi\_309  
「それで、ね? 今、わた  
してれこは——わたしは、多  
分、たぶんだせど、キミの  
どが——ねつ……」

;SE 抱れる音 (不自然な木製)  
;3/扣 接近疊音

## 【八千代】

yachi\_310  
「えくへ——「れしき。キミも  
わたしと、おんなじ感想かで  
いてくれるんだ」

## 【八千代】

yachi\_311  
「……「れしいから、ね? い  
わせて、ちやんと。わたしに  
も」

## 【八千代】

yachi\_312  
「(馬を駆け) ——わたしは、  
キミが大好きだ。キミに恋を  
——せじゆつの恋を、してい  
まよ」

yachi\_313  
「だからわたしはもひとつ  
——わたしの恋人に、なつてく  
ださじ……ふわつ……」

## 【八千代】

yachi\_314  
「わよの ルー… 叩… 雪輪ち  
がう… キベ、とかせ—  
わやくわね田木シトーレーでも  
ひのい、トーメント、アレ  
で、三回田くのこのトートに  
なつしかいだる咲。わたし  
しゃらせ」

## 【八千代】

yachi\_315  
「だから、今せ——お返事！わ  
たしの畠田のね返事……聞か  
せてくれだる、うれしこな」

## 【八千代】

yachi\_316  
「……（唇吸音）——（唇吸  
音）——えくへ…えくへ  
へへ…——あへ…」

;SE 吻音 1/組→; 10/組音類

## 【八千代】

yachi\_317  
「うかんじやだー メロト  
イー、鼻歌… … … わ、とひ  
へ… 錦音… … 恋人回十  
になつてしまふのメロト  
イーセー」

【八千代】

yachi\_318  
「オッケー。 われじやね、う  
たうか、む…… (鳥を喰ひ)  
」

▽楽曲解説：メロディアスなピアノメロ

;#J#C